

2016 春季生活闘争・妥結情報

2016. 3. 16—第 1 号— 連合北海道 春季生活闘争本部

コープさっぽろ(UA ゼンセン)昨年を上回る妥結！

【UA ゼンセン コープさっぽろ労働組合】(妥結1号)

- 月例給 正社員 ベア・定昇込み 16,061 円(5.76%)
契約社員 7,979 円(4.58%)
- 時給 パート +29円

いよいよ 2016 春季生活闘争は、集中回答指定日の第 1 のヤマ場を迎えた。

中央では、世界的な株安や中国、新興国の景気減速など経済情勢の不透明さを理由に、経営側が慎重な姿勢を崩しておらず、厳しい労使交渉が続いている。

そのなかで北海道段階では、先行して「コープさっぽろ労組」が昨年を大幅に上回る回答を引き出した。第一先行組合の集中回答指定日である本日（16 日）は自動車や UA ゼンセン傘下組合などが交渉に臨んだが妥結に至っていない。

連合北海道は、本日正午から札幌紀伊國屋書店前で第一のヤマ場における街頭宣伝活動を展開、杉山事務局長を先頭に組合員らが市民に賃金の底上げに向けた支援を訴えた。

明日（17 日）以降は UA ゼンセン、運輸労連などが今週中の妥結をめざして交渉を強化している。連合北海道は、先行組合及び中堅・中小集中回答ゾーンに向け、断続的に街宣活動を展開するとともに、大手と中小企業の格差改善、中小企業の業績改善のためにはサプライチェーンにおける公正取引の実現が不可欠であることから、3 月 31 日には公正取引委員会道事務所及び北海道経済産業局に対する要請行動も実施する。また、引き続き各産別、構成組織に対する支援・連携体制を強化していく。

厳しい交渉環境の中ではあるが、今春闘は、「底上げ・底支え」「格差是正」の観点から、昨年に引き続き月例賃金の改善にこだわること、すべての働く者の処遇改善、とりわけ中小・非正規労働者の待遇改善を重点に取り組むことを繰り返し主張する。

全国の自動車総連では昨年の 112 社を大きく上回る 453 社で非正規労働者の賃金改善など具体的な要求を掲げており、正社員のベアを上回る回答を引き出した組合もあるなど前進が図られている。今後も中小企業や非正規で働く労働者の賃金を中心とする格差改善にこだわった闘いを粘り強く進めていかなければならない。

春闘の闘いは始まったばかりである。特に、北海道は企業の 99.8%が中小企業であり、6 月以降まで交渉は続く。連合北海道に結集し粘り強く闘いを進めていこう。

なお、連合は本日、別添のとおり神津会長のアピールを発している。

◎2016 春季生活闘争 北海道集計へのエントリー未報告の産別・地区ユニオンは、至急報告をお願いします。

◎要求・回答・妥結情報を集約中ですので、2016 春季生活闘争本部までお知らせ下さい。

担当 永田・勝又・小野寺・馬場 (TEL 011-210-0050 FAX 011-272-2255)

2016 春季生活闘争アピール

底上げに向けた今後の取り組みについて

～ 賃上げをすべての働く者へ ～

本日、2016 春季生活闘争における最初のヤマ場を迎えた。

今次闘争では、「デフレからの脱却」と「経済の好循環確立」に向け、月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げの流れを継続させることを訴えてきた。すべての組合が、労使の社会的使命を果たすべく、厳しい交渉環境の中で賃金の引き上げを求め真摯な交渉を繰り返した結果、本日、先行組合が月例賃金の引き上げ回答を引き出した。

我々は今次闘争のキーワードを「持続性」「月例賃金」「広がり」「底上げ」と定め、すべての働く者の処遇の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現をめざしている。そのためには、本日までに示された回答内容を、続く中堅・中小組合はもとより、未組織を含めたすべての働く者の賃金引き上げに確実に波及させなければならない。第5回戦術委員会確認事項を踏まえ、以下の事項に取り組むことを要請する。

記

1. 先行する組合が引き出した回答内容を賃上げのうねりとしてあまねく波及させるために、交渉中の組合は3月決着に向けて全力を尽くす。また、非正規労働者の雇用の安定と処遇の改善に向けて、正規・非正規の同時決着をめざす。
2. 構成組織は、交渉中の単組に対する訪問オルグなど、要求趣旨に則った回答引き出しに向け全力を尽くす。大手組合は、グループ・関連会社組合の支援を強化する。
3. 地方連合会は、地場共闘のもとで地方構成組織と連携し、中小・地場組合の交渉を支援するとともに、回答内容などの情報共有をタイムリーに行う。加えて、成果を地場における賃金相場の底上げに波及させるため、効果的なアピールや情報提供を行う。

連合は、構成組織、地方連合会、単組との連携を強め、月例賃金引き上げの流れを継続させるべく、波及効果の増大をはかっていく。

2016 年 3 月 16 日
日本労働組合総連合会
中央 闘 争 委 員 長
神 津 里 季 生